

図書館だより



京都市立高野中学校
図書館

令和3年 3月号

新生活に向けて、読書しよう

3月とはいえ、まだ寒さが厳しい毎日です。もう少しで三学期が終わり、4月からは中学、高校での新生活がスタートしますね。皆さんはこの1年間で振り返って、面白い本に出会えましたか？

今月から春休みが始まります。この機会に、新しい本を読んだり、懐かしい本を読み返してみたり、ゆっくり読書を楽しみましょう。

図書館が開館しているときには、ぜひ来てください。

図書委員長

図書館の開館は11日まで

蔵書点検のため、本の返却と閲覧のみの開館です。
本を借りることはできません。



本を借りている人は、5日(金)までに必ず返却ください。

ありがとう
ございました!



今年度はコロナ禍での開館スタートとなり、みなさんにはアルコール消毒やマスクの着用、返却方法の変更など、これまでとは違うスタイルでの図書館利用にご理解とご協力をいただき、本当にありがとうございました。2か月遅れの開館だったにも関わらず、高野中図書館では6月～2月までで、1755冊もの本の貸出利用がありました。

好きな本、勉強の本、部活の本、息抜きの本…これからもいろいろな本と出会い、自分の世界を広げて頂けたらと思います。

2021年度も感染対策や利用マナー向上に努めながら、
たくさんのご利用を心からお待ちしております。

学校司書 坪井 真穂



「卒業・旅立ち」に贈る本



すべて図書館にあります。3月は貸出しはできませんが、開館中は図書館で読むことができます。



漫画 きみたちはどう生きるか

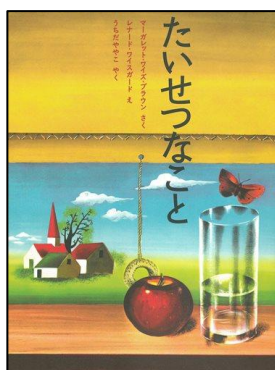
漫画/羽賀翔一
原作/吉野源三郎

やるべきことをできずに後悔するかもしれない、でもその経験をわすれてはいけない、その経験がきっと何度も背中を押してくれるから。悩める自分を勇気づける一冊。

一瞬の風になれ

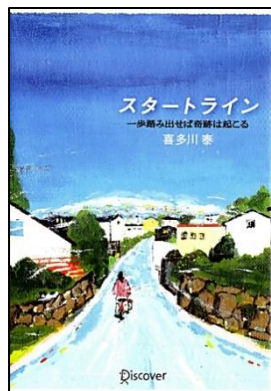
佐藤 多佳子/著

サッカーに限界を感じた新二と、やる気のない天才スプリンター連。とくに強豪校でもない高校陸上部に入部した幼なじみの2人。思わず胸が熱くなる、とびきりの青春小説。



たいせつなこと マーガレット・ワイズブラウン/著

スプーンにとってたいせつなのは・・・
ひなぎくにとってたいせつなのは・・・
あめにとってたいせつなのは・・・
優しくて美しい絵と丁寧できれいな言葉が心地よく、本当にたいせつなものがわからなくなったときに読んでほしい一冊。



スタート・ライン 喜多川 泰/著

「今の自分にできることで、自分の価値を判断しちゃいかん。」

5年後の自分の可能性を舐めるなよ。」

18歳の淡い恋とそこから変わっていく人生の物語。

15歳のあなたの人生もこれから少しずつ変わろうとしています。主人公と同じように、卒業する君たちにも素敵な「出会い」が訪れますように。

リボン 草野 たき/著

「先輩、リボンください。」卓球部女子には卒業式に先輩から制服のリボンをもらう伝統がある。試合に勝てず、彼氏もない先輩に、なぜかリボンをもらえなかった主人公。

「波風を立てないこと」をモットーに生きてきた彼女の中で今、何かが変わりつつある・・・。

卒業式から卒業式まで。移りゆく15歳の気持ちをリアルに描いた物語。

